

病院の理念

(いのち)

生命を育み未来を大切に

1. 人権を尊重し、心のこもった医療を実践します。
2. 地域との連携を図り、安全かつ専門的な医療を提供します。
3. 主体的に参画し、健全な病院運営に努めます。



作品名：おいもほり 作者：服部 稔 様

## CONTENTS

- 診療部だより ..... 一期一会、そして「和」の心  
統括診療部長 安田邦彦
- 医療福祉部だより ..... ゆめ水族園in沖縄
- 看護部だより ..... 呼吸の話
- トピックス ..... 衛生設備の取替えが完了しました
- 地域医療連携室だより ..... 地域医療連携施設の紹介マラソン  
白木眼科医院の紹介 53
- ニューフェイス紹介

看護師  
募集中





# 一期一会、そして「和」の心 ～長良の地でチーム医療に携わって～

統括診療部長

安田 邦彦

**4**月から統括診療部長に就任した小児外科の安田です。統合前の国立療養所長良病院だった2000年の10月に岐阜県立病院（現、岐阜県総合医療センター）から赴任して22年になります。

この間、多くの出会いがありました。それは病院内外の医療に携わる同志の皆さん、患者さん、そのご家族など多くの方々ですが、一つ一つの出会いがあって多くを学び感じて、今の自分があると思っています。

今でこそ薬剤部、放射線科、検査科が夜間、休日の当直体制がありますが、赴任当初は医師、看護師のひとり当直で分包機も使いまし たし、レントゲンも撮っていました。ただ困ったときは、どなたに相談しても快く助けていただけました。人の温かさをとても嬉しく感じたものです。当時は、勤務時間終了とともに毎週病院テニス部活動があって、汗を流した後は皆で食事をして、遅くまでよく語り合つたものです。ただ今で言うチーム医療は、その頃あったこの部活動などの多職種の集まりの中で培われていった要素も少なからずあると思います。チームということでは、コロナ禍という前代未聞の状況のなか、お互いに支え合い協力し合うことの大切さを再認識させられる今日この頃です。

当院の小児外科の歴史は1975年（昭和50年）に遡ります。第1回直腸肛門内圧研究会（現、小児消化管機能研究会）が全国から小児外科をリードする8大学が参加して東北大学で開催され、その中の一つが岐阜大学で当院の初代院長の国枝篤郎先生でした。1979年には岐阜で開催され、全国の小児外科医が集まりました。研修医時代に長良病院で研修の機会がなかった私は、成人の消化器外科から小児外科に変わった当初は見るもの聞くもの全てがカルチャーショックでした。小児外科疾患はもとより薬剤やその量、使用するチューブ類は年齢により異なり、初めて使用する器材や手技など、医師1年目にタイムスリップした感じでした。それから22年経って、幸せに

も新生児も含めて一通りの小児外科疾患は執刀する機会を得ることができたなかで、10年ぶりの手術も珍しくなく、現在手術や診療の支援をしていただいている岐阜大学小児外科准教授の加藤充純先生の「初めての手術でも一度みたら次は執刀医」という言葉にはとても共感を覚えます。成育外科系医師が小児外科4人、脳神経外科2人、形成外科1人の7人態勢だったのは昔のことと、現在は周産期医療がなくなり、2人態勢で緊急手術への対応もままならなくなりましたが、だからこそやるべき医療があると思っています。

昨今、働き方改革と言われてどの職種も困惑しているところではありますが、これを活かせるかどうかは自分自身にかかっていると思います。とは言っても難題であることにはかわらず、診療部長としてしっかり取り組んでいこうと思います。

老若男女、子供もお年寄りも、障害を持った方も、皆さんに対して診療科や部門の垣根を取っ払い、助け合って日々診療に勤しんでいます。もちろん、皆がいつも同じ考え方でまとまるばかりではありませんので、何とか架け橋になるよう心がけています。是非、皆さん之力をお貸しください。当院の良さ、アピールポイントは何といっても弱い者の味方で、心にも寄り添う医療であり、チームでの助け合いが絶対に必要です。同じチームになったからには、どうかよろしくお願ひいたします。私が入局した岐阜大学の第2外科も「和」（相手を思いやる心）を最も重んじ、外科医としての私のコアになっています。

診療部は医局、検査科、放射線科、リハビリ科、ME、療育指導室、栄養管理室があり、コロナ禍の前はこれに、看護部、薬剤部、事務部を交えて、親睦会がよく開催されましたし、これから少しづつ以前のような日常に戻ることが恋しくなっている方も多いのではないかでしょうか。その時を信じて、力を合わせて頑張りましょう。

# ゆめ水族園 in 沖縄 ～今年も夏がやってきた！～

療育指導室 主任保育士  
**千田 千津**

**長** 良医療センターのA病棟では、毎年夏になると「ゆめ水族園」を行っています。「ゆめ水族園」とは、数年前にエプソンと協同し行い、ワクワクする楽しい映像空間を作りだし豊かな感覚体験を届ける活動で、その時学んだノウハウを生かし、以降療育指導室職員で工夫を凝らし行っている行事です。

今年も大小合わせて7台のプロジェクターを使い、「ゆめ水族園」を行いました。

と言っても毎年、水族館では患者様は「また同じか！」とつまらなく思ってしまうでしょう。そこで今年は、「in沖縄」とし、沖縄旅行へ行った気分が味わえるようなツアー形式にしました。

ツアーの始まる前には、集合場所で添乗員に扮した職員から今日のツアーの案内を聞きます。手作りのツアーバッヂをつけ、沖縄行きの飛行機の搭乗チケットをもらい、さあ出発です！

病棟入り口の搭乗ゲート通り、那覇空港へエレベーターで30秒の空の旅。扉が開けば、そこはハイビスカスの花々がお出迎えです。



空港を出て観光が始まると、添乗員からこれから向かう観光地の説明を聞きます。

まずはマングローブ林。今日は沖縄本島東部の海岸を流れる慶佐次川から両岸のマング



ロープ林を臨みます。今まで見たことのない光景に患者様もリラックスした様子です。

続いて向かう先は、首里城。患者様の中には、首里城の歴史に詳しい方もみえ、「首里城は琉球王国のお城で、王様は…」とその説明に添乗員もタジタジです。続いて沖縄伝統芸能のエイサー体験。踊っている人に合わせて太鼓を叩いて楽しむ患者様の様子が見られました。そして最後は今回の旅の最骨頂、沖縄の海に潜ります。カメと一緒に泳いだり、海の中の洞窟を通りぬけたり、たくさんの綺麗な色の魚を見て楽しみました。ストレッチャータイプの車いすを使用されている患者様も楽しめるように、天井にも同じ映像を流し、誰もが見やすく、まるで海の中にいるみたいと感じられるようにしました。



解散場所に着き、最後の挨拶を聞いて、今回の旅は終了です。患者様からは、「凝ってるね。」「頑張ったね。」という言葉が聞かれ、今年も夏を楽しんでいただけたと職員一同嬉しく思いました。

コロナの終息はなかなか見えてきませんが、工夫すればいろいろな楽しみ方ができます。今後も患者様の生活が、少しでも潤い、楽しめるよういろいろな行事を行っていきたいと思っています。

# 呼吸の話

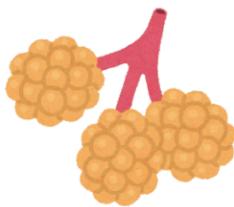
慢性呼吸器疾患看護

認定看護師

須田 恵子

**当**院では慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌、気管支拡張症、肺がんなどの患者様が多く、肺の病気とうまく付き合いながら生活されています。

私たちは空気中の酸素を吸い、体の中で受け渡した後、二酸化炭素を排出しています。肺にはぶどうの房のような袋が存在しており、息を吸ったり吐いたりするに合わせてこの袋が広がったり、縮んだりします。



この袋を肺胞といい、肺胞は私たちの肺の中に約3億個もあります。さらにこの肺胞を広げてみると、テニスコートの約半面分（約60～70平方メートル）にもなり、この広い面積を使って酸素と二酸化炭素の受け渡しを行っています。

酸素は動くためのエネルギーのようなもので、不足すると体に影響が出てしまいます。息苦しくなるだけではありません。酸素は肺だけでなく血流にのって全身を巡っていますので、脳に酸素が不足すれば、集中力や判断力の低下などに繋がり、呼吸だけでなく全身の臓器に影響が出てしまいます。つまり、適



切に酸素を取り込むことが大切になります。

肺に病気があると、体の中の酸素が足りなくなることがあります。酸素が足りているかを知るために、パルスオキシメーターという機器があります。

パルスオキシメーターは今回のコロナウイルス関連で認知が広がったのではないでしょうか？主に指に付けて血液中の酸素濃度を測定します。肺に病気がない一般の方で95%以上はありますが、この値が低くなると血液中の酸素が足りていないサインとなります。酸素が少ない状態が続くときは早めに対応することが大切となりますので、その際は受診をして下さい。



最後に…

私は慢性呼吸器疾患看護認定看護師として勤務しています。呼吸について深く学んできました。日常生活を送る上で呼吸について分からぬことや不安なことがありますたら何でも聞いてください。ご自宅で酸素を使用している方、人工呼吸器を使用されている方のお困りごとなども伺っており、一緒に解決方法を考えていきます。毎週木曜日は勤務していますので気軽にご連絡ください。



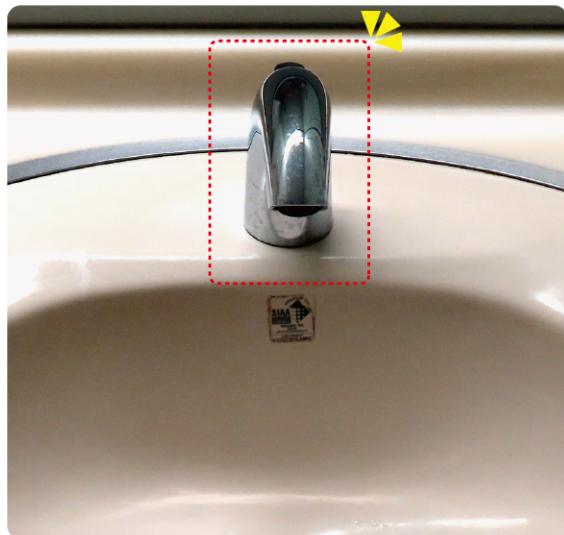
# 衛生設備の取替えが完了しました

## 事務部 企画課

長良医療センターでは、感染防止対策整備・老朽化対策整備の一環として、外来管理治療棟の診察室・トイレ等の衛生設備を一部改修しました。

改修箇所

### ① 手洗い場の自動水栓化



改修箇所

### ② トイレの蓋・便座の自動開閉、非接触スイッチによる便器洗浄



これからも皆さんに安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

# 白木眼科医院の紹介

～地域医療連携施設の紹介マラソン⑯～

院長

白木 幸彦



**当院はもともと父が岐阜市役所の近くで開設していましたが、昨年11月に長良医療センター近くに移転しました。**

長良医療センターは親が患者としてお世話になっておりました。時間外にもかかわらずすぐに対応していただきまして、感謝しております。父の医院を私が引き継ぐにあたり、移転したのですが、このような形で私も長良医療センターにお世話になるとは思っていませんでした。

現在特に長良医療センターにお世話になっていることは頭部MRI検査です。眼科では診断のために頭部MRI検査が必要な時があります。そこで長良医療センターにその撮影をしていただいています。単に利用できるだけでなく、検査の予約や当日の利用方法も簡便にしていただいているので、当院の機械のように利用させていただいているです。

かも撮影条件をどのようにしたら検査の精度を上げることができるかの問い合わせも検査技師さんからしていただけており、大変感謝しております。

当院は斜視、弱視の診療を専門としており、手術にも対応しています。斜視は小さいお子さんの視力の発達に大きな影響を与えるため慎重に検査をする必要がありますが、なかなか検査ができないことが多いです。そこで小さいお子さんでもできる検査機器をそろえるとともに、楽しく検査に参加できる環境づくりを心掛けています。大人の方も斜視で悩んでいる方も多く、治療ができる事を知らない方もいます。そのような方々にも気軽に相談していただけるようにしていきたいと思っております。

小さいお子さんだけでなく、ご高齢の方に多い病気である、白内障、緑内障や加齢黄斑変性症の治療にも力を入れています。白内障



では手術、加齢黄斑変性症では目への注射で治療します。どの治療も目への侵襲が大きく、最初は皆さん心配されています。当院ではできるかぎりリラックスしながら治療を受けていただく環境を整え、通院の方法や頻度もできる限り負担にならないように配慮しながら、無理なく継続して診療を受けつづけるように心がけています。

眼科も全身的な病気と関連するものが多くありますので、今後も長良医療センターにお世話になると思いますし、眼科的なことであ



れば、微力ながら当院もご協力できればと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## ニューフェイス紹介

### 長良医療センターの新しい顔に

転入  
新規採用  
①抱負、自己PR  
②好きな言葉、座右の銘  
③出身地 ④趣味

**薬剤師**

いわ た  
**岩田 あやみ**

①三重から実家のある岐阜県に戻ってきました。初めての転勤ですごくドキドキしていますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。  
②温故知新  
③大垣市  
④ABEMAトーナメントを見ること、韓国ドラマ

**小児科医師**

いは ば  
**幅 あずさ**

①一生懸命頑張ります、よろしくおねがいします！  
②笑う門には福来たる  
③岐阜市  
④山登り、音楽

**理学療法士**

いま い  
**今井 美春**

①短い間ですが、少しでも役に立てるよう頑張ります。  
②特になし  
③静岡県  
④ドライブ

**児童指導員**

たけ うち  
**竹内 裕子**

①患者様のお気持ちに寄り添った支援をしていきたいです。ご指導のほどよろしくお願ひいたします。  
②幸  
③関市  
④ショッピング、ランニング

**事務助手**

さい とう  
**斎藤 美紗**

①感謝の気持ちを大切に、仕事に対して誠実、真摯に向き合います。一日も早く仕事を覚え、自分だけでなく周りの皆様がスムーズに業務ができるよう心がけてまいります。  
②一期一会  
③岐阜市  
④音楽

## 外来診療のご案内

診察室	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	32	加藤 達雄			安田 成雄 (13-15時)	加藤 達雄		加藤 達雄		安田 成雄
	33	浅野 幸市			松野 祥彦		大西 涼子		鯈 稔隆	松野 祥彦 「禁煙外来」
	31	大西 涼子			鯈 稔隆		五明 岳展		浅野 幸市	
呼吸器外科	31				小松 輝也 「初診」					小松 輝也
	33				長田 駿一					
循環器内科	42	宮田 周作				宮田 周作		谷垣 徹		宮田 周作
ペースメーカー	42			宮田 周作 (第1・3週)						
消化器内科	43		加藤 則廣					加藤 則廣		
脳神経外科	43	荒木 有三		松久 卓		松久 卓				
心臓血管外科	42			富田 伸司 (第2・4週)						
内分泌内科	1									
産婦人科	200			大西 貴香				大西 貴香		
小児科	52	宮崎久美子	丸田香奈子		宮崎久美子			館林 宏治 (第3)		星 みゆき (第1.3)
	53		星 みゆき	星 みゆき	館林 宏治 (第1)			星 みゆき		丸田香奈子 森 理香子
	54				下川 祐子			大塚 行子 (第2.4)		
	57	西口 雅人		幅 あずさ	原 晃啓	原 晃啓	幅 あずさ	宮崎久美子	西口 雅人	下川 祐子
神経小児科	52			船戸 道徳		西村 悟子		船戸 道徳	船戸 道徳 (第1.3)	船戸 道徳 (第2.4)
	53						船戸 道徳			
	54	安藤恵美子	安藤恵美子			安藤恵美子	安藤恵美子	加藤善一郎	加藤善一郎 (第3)	西村 悟子
	57		船戸 道徳							原 晃啓
小児外科	55	加藤 稔洋	加藤 稔洋			安田 邦彦	鴻村 寿 (第3週)			
形成外科	55								小池 学 (第2・4週)	
リハビリ診察	57	西口 雅人	船戸 道徳	幅 あずさ	原 晃啓	原 晃啓	幅 あずさ	宮崎久美子	西口 雅人	下川 祐子
脳神経外科(小児)	52									森理香子(13時~15時) 原晃啓(15時以降) 近藤 五郎 (第2・4)

※予約制を行っています。再診予約電話058-232-2800 (平日8時30分~17時15分)

## 交通案内



### 自動車



#### ■高山方面より

東海北陸自動車道  
関インターより30分 (R156号線経由)

#### ■名古屋方面より

東海北陸自動車道  
一宮木曽川インターより30分 (R22号線経由)

### 電車・バス



JR東海道本線岐阜駅下車又は名鉄名古屋本線岐阜駅下車  
**岐阜バス**

#### ■長良医療センター行 (所要時間26分) 終点下車

JR岐阜駅前 バスター・ミナル ⑬番のりば  
名鉄岐阜駅前 バスター・ミナル ④番のりば

#### ■松蘿団地行 (所要時間23分) 長良医療センター口下車 ▶ 徒歩5分

JR岐阜駅前 バスター・ミナル ⑬番のりば  
名鉄岐阜駅前 バスター・ミナル ④番のりば



Nagara 国立病院機構  
<http://www.hosp.go.jp/~ngr/>

# 長良医療センター

〒502-8558 岐阜市長良1300-7  
代表TEL:058-232-7755 FAX:058-295-0077  
予約センターTEL:058-232-2800

●令和4年10月1日発行 ●印刷/山興印刷株式会社